

学びの部屋 ～1年生～「あきとふれあおう」「なわとびの取り組み」

11月1日(木)に、生活科「あきとふれあおう」で芝公園へ秋を見付けに行きました。「赤い葉っぱがあるよ。こっちには黄色い葉っぱだ」「どんぐりがいっぱいある」「細いどんぐりと丸いどんぐりを見つけたよ」「どんぐりの帽子がついていてかわいい」など、発見したことを嬉しそうに報告合っていました。

その後、拾ったどんぐりや葉、枝を使って飾りを作り廊下に掲示しました。クリスマスツリーや花畑、犬などアイデアいっぱいの作品ができました。子供たちの発想が楽しいです。



實松里津子

体育「体づくりの運動遊び」では短縄とびに取り組んでいます。1年生は「連続で、前後の両足跳びが跳べるようになること」をめあてとします。「つま先でジャンプすると上手く跳べるよ」「脇を体に付けるようにするといい」といった、上手に跳べる友達にコツを教えてもらいながらリズムカルに跳べるようになってきています。うまくできると「見て見て!できた」と目を輝かせて知らせてくれる姿が微笑ましいです。休み時間にも「練習してきます!」と短縄をもって校庭へ出ていき意欲的です。



實松里津子

学びの部屋 ～4年生～「もののあたたまり方」「盲導犬キャラバン」

理科では、「もののあたたまり方」に取り組みました。この学習では、アルコールランプや実験用ガスコンロなどの実験器具を使います。一人一人がマッチで火を点ける練習から始め、用具の取り扱いの安全に気を付けて正しく使って「金属」や「水」、「空気」の温まり方について実験を行いました。

実験から、金属は熱したところから順に温まり、水や空気は熱したところが上に移動して上から温まることが分かりました。学習した内容をまとめる場面では、これまでの実験を振り返り、「エアコンで部屋を温めるときは、吹き出し口を下に向けた方が早く部屋が温まるので、省エネにもつながります」と考えた児童もいました。学習した内容をこれからの生活に生かそうとする姿が印象的でした。



石嶋 賢

総合的な学習の時間「手と心で伝えよう」では、「盲導犬キャラバン」の出前授業を行いました。盲導犬は主に「角・段差・障害物」の三つを盲導犬ユーザーに教えることが仕事だということを学びました。実際に体育館のステージに上がり、端の方向に歩いて行くと言導犬がユーザーの前に立ち、行く手を遮りました。その姿を見て、子供たちは目を輝かせて「わぁ」と驚きました。また、目の不自由な方は「手触り・音・味・匂い」などを使って状況を理解していることを教えていただきました。子供たちからは「目の不自由な方は大変だと思っていたけれど、工夫すれば自分たちと同じように生活することができることが分かりました」「困っている方がいたら『どうしましたか?』と声を掛けたいです」などの感想が出ました。「皆が生活しやすくするにはどうしたらよいか?」、「自分達にできることは何か?」を考える良い機会となりました。

齋藤 文子

人権週間 12月4日(火)～7日(金)

芝小学校では毎年2回人権週間を設けています。今回は全校朝会において校長による講話、各クラスで作った人権標語の発表、飼育環境委員会による人権に関する発表を行います。また、クラスでは、人権についての道徳の授業に取り組めます。保護者会まで、各クラスの人権標語は玄関に、個人で作った標語は各クラス前の廊下にそれぞれ掲示いたします。ぜひご覧ください。人権についての取り組みを通して、命の大切さ、人に対するやさしさ、思いやりなどを身に付けていけたらと考えています。

人権教育担当 土田 順子